

平成 28 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	ネオウイルス学：生命源流から超個体、そしてエコ・スフィアへ
領域代表者	河岡 義裕（東京大学・医科学研究所・教授）
研究期間	平成 28 年度～平成 32 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、ウイルスを感染症の原因としてではなく、ウイルスと宿主を一体のものと捉え、ウイルスが生態系の恒常性維持や生物の生体活動、生命進化に果たす役割の全貌を解明しようとする野心的な提案であり、新たな概念やパラダイムの創出が期待できる。また、日本の独自性が発揮できる領域であり国際的な優位性が認められるとともに、学術的な意義や波及効果も大きいと考えられる。</p> <p>研究組織については、多様な生物宿主とウイルスの組み合わせを網羅する計画研究により構成されており、各研究者の有機的な連携の促進や次世代の研究者の育成、研究試料の共同収集、解析技術の相互提供についても十分に考慮されていることから、生物種を超えてウイルスの存在意義を俯瞰できる体制が整っている。また、各計画研究代表者にはこれまでも十分な実績があり、本研究領域における実験計画の実現性も高いと期待される。</p>